

関西グリーン物流パートナーシップ会議 推進事業(普及事業)の実績[関西版]

平成22年度 普及事業一覧

※太字下線が代表申請者

| 時期 | 番号 | 受付 | 分類(主) | 分類(副) | 事業の名称 | 事業の概要 | 事業者 | |
|----|----|----|-------|-------|--|--|--------------------------|---------------------------------|
| | | | | | | | 荷主 | 物流事業者 |
| 1次 | 1 | 近畿 | モ(鉄) | | パートナーシップによって「積水ハウス株式会社 静岡工場 住宅製品」の「静岡県掛川市」～「山口県山口市」及び「宮城県加美郡」間輸送を鉄道へモーダルシフトすることによる省エネルギー事業 | 従来は「4t・10t増付トラック」によって運ばれていた「住宅製品」の輸送について鉄道へモーダルシフトすることにより、環境負荷の低減を行う。 | 積水ハウス(株) | <u>センコー(株)</u> 日本貨物鉄道(株) |
| | 2 | 近畿 | 集 | | パートナーシップによって「タイヤ」の輸送拠点を集約することによる省エネルギー事業 | 従来は「現在の門真流通センター・西宮流通センター・美原流通センター」に分散していた「タイヤ」の輸送3拠点を「現在建設中の舞洲PD(仮称)」に集約することにより、輸送距離の削減・環境負荷の低減を図る。 | SRIロジスティクス(株) | <u>オリックス自動車(株)</u> センコー(株) |
| | 3 | 近畿 | 集 | | パートナーシップによって「スポーツ用品」の輸送拠点を集約することによる省エネルギー事業 | 従来は「(株)エスエスケイSSK流通センター(大阪市)」と「(株)エスエスケイ西日本流通センター(奈良県)」、「アサヒ倉庫(株)奈良センター(奈良県)」、「(株)エスエスケイ量販奈良センター(奈良県)」に分散していた「スポーツ用品」の輸送拠点を「(株)エスエスケイ仮称西日本流通センター(東大阪市)」に集約することにより、環境負荷の低減を行う。 | (株)エスエスケイ | <u>センコー(株)</u> |
| | 4 | 近畿 | 大 | | パートナーシップによって「ステアリング」の「奈良工場」～「中部物流センター」間の輸送「10tトラック」を大型トレーラー化することによる省エネルギー事業 | 「ステアリング」の輸送において、「10tトラック」から「24tトレーラー」へ輸送機材の大型化をすることにより、環境負荷の低減を行う。 | (株)ジェイテクト | <u>奈良三笠運輸(株)</u> |
| | 5 | 近畿 | 大 | | パートナーシップによって「フィルム原料チップ」の「帝人松山」～「帝人デューボンフィルム・宇都宮事業所、茨城事業所」間輸送の「海上コンテナ」を大型化(15トン→20トン化)することによる省エネルギー事業 | 「フィルム原料チップ」の輸送において、「15トン専用コンテナ」から「20トン汎用コンテナ」へ輸送機材の大型化をすることにより、環境負荷の低減を行う。 | 帝人デューボンフィルム(株) 帝人(株) | <u>帝人物流(株)</u> |
| | 6 | 近畿 | 他 | | パートナーシップによって「娯楽用具・玩具」の輸送拠点を分割することによる省エネルギー事業 | 従来は「(株)日立物流茅ヶ崎物流センター」のみで行われていた輸送を「(株)日立物流北大阪物流センター」を新設することにより、環境負荷の低減を行う | コナミニューファクチャリング & サービス(株) | <u>関西日立物流サービス(株)</u> (株)日立物流 |

※分類種別・・・ **モ(鉄)**: 鉄道へのモーダルシフトにかかるもの、**モ(海)**: 海運へのモーダルシフトにかかるもの、**共**: 共同輸配送にかかるもの、**集**: 物流の集約(拠点の集約化等)にかかるもの、**大**: 大型化による物流効率化にかかるもの、**他**: その他

平成21年度 普及事業一覧

※太字下線が代表申請者

| 時期 | 番号 | 受付 | 分類 (主) | 分類 (副) | 事業の名称 | 事業の概要 | 事業者 | |
|----|----|----|-----------|-----------|---|--|--------------|-------------------|
| | | | | | | | 荷主 | 物流事業者 |
| 1次 | 1 | 近畿 | 集 | | パートナーシップによって「生鮮日配食料品」の輸送拠点を集約すること、及び「発泡スチロール容器」を集約減容することによる省エネルギー事業 【平成20年度普及事業参考】 | 3箇所の物流センター及び各卸売市場に分散していた生鮮日配食料品の輸送拠点を、2箇所の物流センターに集約すること、及び各店舗より個別産廃業者に輸送し焼却処分をしていた発泡スチロール容器を物流センターに集約、減容処理を行った後、リサイクル工場に輸送を行う。以上により商品及び発泡スチロールの輸送距離・車両数の圧縮が可能となり、環境負荷の低減が実現する。 | ライコホレーション(株) | (株)ロジスティクス・ネットワーク |
| | 2 | 近畿 | 大 | | パートナーシップによって「樹脂チップ」の「東海工場」～「岡崎工場」間輸送の「タンクローリー車」を大型化することによる省エネルギー事業 【平成20年度普及事業関連】 | 東海工場～岡崎工場間の樹脂チップの輸送について、14t積載のタンクローリー車を19t積載のタンクローリー車へ大型化することにより、運行回数を削減し、環境負荷の低減を行う。 | 東レ(株) | 東洋運輸(株) |
| 2次 | 3 | 近畿 | 大 | | パートナーシップによって「石油製品」の「堺市」～「近畿2府4県下」の給油所間輸送の「タンクローリー」を大型化することによる省エネルギー事業 | 「石油製品」の輸送において、「20klタンクローリー」から「24klタンクローリー」へ輸送機材の大型化することにより、環境負荷の低減を行う。 | コスモ石油(株) | 近畿石油輸送(株) |

※分類種別・・・ **モ(鉄)**: 鉄道へのモーダルシフトにかかるもの、**モ(海)**: 海運へのモーダルシフトにかかるもの、**共**: 共同輸送にかかるもの、**集**: 物流の集約(拠点の集約化等)にかかるもの、**大**: 大型化による物流効率化にかかるもの、**他**: その他

平成20年度 普及事業一覧

※太字下線が代表申請者

| 時期 | 番号 | 受付局 | 分類(主) | 分類(副) | 事業の名称 | 事業の概要 | 事業者 | |
|----|----|-----|-------|-------|--|---|-----------------------------|--------------------|
| | | | | | | | 荷主 | 物流事業者 |
| 1次 | 1 | 近畿 | モ(鉄) | | パートナーシップによって「特殊鋼」の「兵庫県姫路市」～「秋田県秋田市」間輸送を鉄道へモーダルシフトすることによる省エネルギー事業 【平成19年度普及事業参考】 | 従来は「27t セミトレーラー」によって運ばれていた「特殊鋼」の輸送について鉄道へモーダルシフトすることにより、環境負荷の低減を行う。本事業のポイントは「特殊鋼という重量物を安全かつ効率的に鉄道輸送するため、専用コンテナの導入を行ったこと」である。 | 山陽特殊鋼 | 榑浜田運送 |
| | 2 | 近畿 | 他 | | 新宮港を利用した内航船フィーダー輸送の転換によるCO2削減及び省エネルギー事業 【平成19年度普及事業関連】 | 新宮港にラフタークレーンを整備し、従前他港(大分県佐伯港及び大阪府阪南港)から遠距離移入していた貨物を新宮港で直接取扱うことにより、CO2排出量及び燃料使用量の削減を図るものである。 | 紀州製紙 | 新宮港埠頭、大阪船船 |
| | 3 | 近畿 | 大 共 | | 工場からの住宅建築現場への小型車直送から大型車による現場近隣のサテライトセンターへの幹線配送と現場配送に変更することによる省エネルギー事業 【平成17年度モデル事業関連】 | 住宅エクステリア商品の輸送について、つくば工場から神奈川エリアへの配送方法を、工場から建築現場への小型車による直送から、現場近隣の綾瀬サテライトセンターへ大型車(10t車)を用いて、まとめ配送しそこから小型車により現場へ運ぶ方法に変更する。幹線輸送にまとめることにより全体での輸送距離を短縮しCO2の削減を図る。 | ダイワラクダ工業 | 大和物流 |
| | 4 | 近畿 | 集 | | パートナーシップによって「発泡プラスチック」の輸送拠点を集約することによる省エネルギー事業 【平成19年度普及事業関連】 | 従来はセンコー・株奈良支店の「北野倉庫」と「上林倉庫」と「天理倉庫」に分散していた「発泡プラスチック」の輸送拠点を、新たに建設する「センコー・株奈良支店 奈良第3PDセンター」に集約することにより、環境負荷の低減を行う。本事業のポイントは「輸送拠点を集約化することで、輸送距離削減による環境負荷低減を図ることが可能になること」である。 | 積水化成工業 | センコー、オリックス自動車 |
| | 5 | 近畿 | モ(海) | | パートナーシップによって牛乳、ヨーグルト・乳製品の関東・中部・関西～九州間輸送を海運へモーダルシフトすることによる省エネルギー事業 | 従来は10t等大型トラックによって運ばれていた牛乳、ヨーグルト・乳製品の輸送について海運へモーダルシフトすることにより、環境負荷の低減を行う。本事業のポイントは海運へのモーダルシフトを行うとともに、社内転送方法の見直し等によりトレーラー化したことである。 | 明治乳業 | 明治ロジテック |
| 追加 | 6 | 近畿 | 集 | | パートナーシップによって「空調機」の輸送拠点を集約することによる省エネルギー事業 | 「ダイキン工業(株)滋賀製作所内倉庫」及び周辺倉庫から、大阪・愛知の各配送センターを経由し、全国へ配送していた「空調機」の輸送を、「滋賀製作所内倉庫」及び「伏見運送第一倉庫(新設)」から、配送センターを経由することなく、直接全国へ配送することにより、配送距離を低減させる。併せて、滋賀製作所周辺に分散していた周辺倉庫を、この新設倉庫に集約することにより、輸送距離を低減させることにより環境負荷の軽減を図る。 | ダイキン工業、三井住友ファイナンス&リース、協同リース | センコー、伏見運送 |
| | 7 | 近畿 | モ(海) | 大 | パートナーシップによって「ビール製品」の滋賀工場～福岡工場間輸送を海運へモーダルシフトすることによる省エネルギー事業 | 現在、「キリンビール(株)滋賀工場～福岡工場」間をトラック輸送している「ビール製品」の輸送を、名門大洋フェリー(株)の「大阪南港～新門司港」フェリー航路を活用した海上輸送にモーダルシフトするとともに、輸送車両を15トラックから20トレーラーへと大型化して運行回数を減少させることにより環境負荷の軽減を図る。 | キリン物流 | 船名門大洋フェリー、フェリックス物流 |
| | 8 | 近畿 | 大 | | パートナーシップによって「食用油脂」の「埼玉県」～「和歌山県」間輸送の「トラック」を大型化することによる省エネルギー事業 | 現在、「食用油脂」の輸送において、「10tタンクローリー車」による輸送から「20tタンクコンテナ積トレーラー」の輸送へ輸送機材を大型化することにより輸送効率を向上させ、環境負荷の軽減を図る。 | 築野食品工業 | 築野運輸 |
| 2次 | 9 | 近畿 | 集 | | パートナーシップによって「工業用薬品」の輸送拠点を集約することによる省エネルギー事業 | 従来、外部倉庫4ヶ所と構内倉庫1カ所に分散していた「工業用薬品」の拠点について、構内倉庫を建て替えることにより外部倉庫2カ所の機能を集約し、拠点を計3ヶ所へ削減することにより、CO2排出量及びエネルギー使用量を削減し環境負荷低減を図る。 | 荒川化学工業 | 鶴見運送 |
| | 10 | 近畿 | 集 | | パートナーシップによって「食品関連商品、日用雑貨及び衣料品」の輸送拠点を集約することによる省エネルギー事業 | 従来は「鳥飼センター」と「堺センター」に分散していた「食品関連商品、日用雑貨及び衣料品」の輸送拠点を「南港センター(仮称)」に集約することにより、環境負荷の低減を行う。 | 株ライフコーポレーション | 加藤産業 |

※分類種別... **モ(鉄)**: 鉄道へのモーダルシフトにかかるもの、**モ(海)**: 海運へのモーダルシフトにかかるもの、**共**: 共同輸送にかかるもの、**集**: 物流の集約(拠点の集約化等)にかかるもの、**大**: 大型化による物流効率化にかかるもの、**他**: その他、**(R)**: 電子タグにかかるもの

※分類... 類型化様式を使用したもの(H20から申請書の様式を類型化様式に変更)

平成19年度 普及事業一覧

※太字下線が代表申請者

| 時期 | 番号 | 受付局 | 分類(主) | 分類(副) | 事業の名称 | 事業の概要 | 事業者 | |
|----|----|------|-------|-------|---|--|-------------|------------------------------------|
| | | | | | | | 荷主 | 物流事業者 |
| 1次 | 1 | 神戸運管 | 大 | | 749総トン内航コンテナ船導入による九州/神戸フィーダー貨物輸送省エネルギー事業【H18普及事業(2次)推進決定(交付決定:事業未実施)】【~H20複数年度事業】 | 神戸~北九州航路を運行しているコンテナ専用船(499総トン)2隻を大型化(749トン)して1隻[することで運行隻数を減少させ、省エネとCO2排出量削減を図る。 | MOLJAPAN(株) | 井本商運(株)、井本船舶(株)、 <u>エムシーリース(株)</u> |
| | 2 | 近畿 | モ(鉄) | | 引越しに係わるトラック輸送から鉄道へのモーダルシフトによる省エネルギー事業 | トラックにより輸送していた阪神圏から首都圏への引越し貨物を、JRコンテナを利用した鉄道輸送にモーダルシフトしCO2排出量削減を図る。 | 株引越社関西 | <u>総合通</u> 、日本貨物鉄道(株) |
| 2次 | 3 | 近畿 | 集 | | パートナーシップによる在庫拠点集約にともなう製品転送改善における省エネルギー事業 | サントリーフーズ(株)が分散して保管している製品・包材在庫について、新たに配送センターを開設して集約するとともに、配送車両を大型化することにより物流の効率化を図る。 | サントリーフーズ(株) | <u>鴻池運輸(株)</u> |

※分類種別・・・ **モ(鉄)**: 鉄道へのモーダルシフトにかかるもの、**モ(海)**: 海運へのモーダルシフトにかかるもの、**共**: 共同輸送にかかるもの、**集**: 物流の集約(拠点の集約化等)にかかるもの、**大**: 大型化による物流効率化にかかるもの、**他**: その他、**(R)**: 電子タグにかかるもの

平成18年度 普及事業一覧

※太字下線が代表申請者

| 時期 | 番号 | 受付局 | 分類(主) | 分類(副) | 事業の名称 | 事業の概要 | 事業者 | |
|----|----|-----|-------|-------|---|--|----------------------|---|
| | | | | | | | 荷主 | 物流事業者 |
| 1次 | 1 | 関西 | モ(鉄) | | 車輪用スキットを利用した鉄道へのモーダルシフト | 現行の大阪市(此花区)から東京都(品川区)への鉄道用車輪輸送モードを10tトラックから鉄道へモーダルシフト(31ft鉄道用コンテナを使用)し、CO2を削減する。 | 住友金属工業株交通産機品カンパニー製鋼所 | 日本通運(株)大阪コンテナ支店 、日本貨物鉄道(株)関西支社 |
| | 2 | 関西 | モ(海) | | 福山通運・一般小口貨物の「大阪南港～新門司港」間フェリーを活用したモーダルシフトによる輸送効率向上事業 | 福山通運(株)が荷主としてまた輸送事業者として陸送している一般小口貨物(特別積み合せ貨物)を輸送車輛の大型化するとともに、名門大洋フェリーグループのフェリックス物流(株)が運用シャーシの購入を行い、実運送を担当し、(株)名門大洋フェリーの「大阪南港～新門司港」フェリー航路を活用したモーダルシフトを図る。 | 福山通運(株) | フェリックス物流(株) 、(株)名門大洋フェリー |
| | 3 | 関西 | モ(海) | | 大型機械の新輸送モデル計画 | タダノ製の輸出向け大型クレーン車等は工場出荷時に分解し、複数トラックで香川県さぬき市～神戸市ポートアイランド・六甲アイランド間を輸送していることから、高松東港に隣接する港湾施設で組立て、神戸港までフェリー輸送後、神戸港からポートアイランド、六甲アイランドの輸出港までバージ船に寄せ替えて輸送する。 | (株)タダノ | ジャンボフェリー(株) 、(株)タダノ物流、丸菱運輸(株) |
| | 4 | 関西 | 集 | | 在庫拠点集約に伴う製品転送改善事業 | 不二製油(株)阪南事業所周辺(泉佐野市)に分散保管している製品在庫を鴻池運輸(株)が大阪市此花区に開設する大阪北港食品流通センターに集約し、物流業務の効率化を図る。これに伴い、不二製油(株)阪南事業所で生産された製品を新センターに転送する際の車両を大型化し、業務の効率化とCO2排出量の削減を図る。 | 不二製油(株) | 鴻池運輸(株) |
| | 5 | 関西 | 共 | | サードパーティーロジスティクスにおける、在庫適正化を具現化する拠点補充支援システムの構築によるCO2の削減 | 拠点間輸送の積載効率向上、モーダルシフトの実現させると同時に拠点在庫の削減を目指し、生産計画に反映させ沿う在庫の圧縮を図るため、在庫適正化を具現化する拠点補充支援システムの構築を行い、最終的には鉄道貨物輸送への転換を目指す。 | (株)マンダム | 日本通運(株)神戸支店 |
| | 6 | 神戸 | モ(海) | | 八戸～京浜間 内航コンテナ専用船利用によるモーダルシフト | 荷主であるNYK Line Japan(株)が宮城県仙台塩竈港コンテナターミナル～東京港大井埠頭間のトラック輸送を今後青森県八戸港～東京港大井埠頭間の内航船にモーダルシフトすることによりCO2排出量の削減を行う。 | NYK Line Japan(株) | 井本商運(株) 、八戸港運送(株)、井本船舶(株) |
| | 7 | 関西 | モ(鉄) | | ISOタンクコンテナを利用した鉄道による化成品輸送事業 | 海外へ輸出している化成品貨物(液状のリン酸)をISOタンクコンテナ利用による鉄道貨物輸送に切り替え、輸送を効率化することでCO2削減を図ると同時に、輸送の安定・安全性を向上させ、併せてより仕向け地・船数の多い大阪港を活用することにより向上させる。 | ブルーエクスプレス(株) | (株)通、日本貨物鉄道(株)関西支社 |
| 2次 | 8 | 関西 | モ(海) | | 酢酸セルロース原料及び製品に係わるトラック輸送から内航船へのモーダルシフトによる省エネルギー事業 | 阪神港～兵庫県姫路市、広島県大竹市間において、化学製品原料及び製品の輸送について、従来のトラック輸送から内航フィーダー船へモーダルシフトし、省エネと環境負荷の低減を図るもの。 | ダイセル化学工業(株) | 八千代・三宝物流(株) (株)辰巳商会 井本商運(株) 井本船舶(株) (株)ハマダ 山九(株) (株)浜田海陸 |
| | 9 | 関西 | モ(鉄) | | 電化製品等に係わるトラック輸送から鉄道へのモーダルシフトによる省エネルギー事業 | コイズミ物流(株)大阪営業所～同草加営業所間の製品輸送について、従来のトラック輸送から31ftコンテナを利用した鉄道輸送にモーダルシフトし、省エネと環境負荷の低減を図るもの。 | コイズミ物流(株) | 日本フレートライナー(株) 日本貨物鉄道(株) |
| | 10 | 関西 | モ(鉄) | | アパレル製品に係わるトラック輸送から鉄道へのモーダルシフトによる省エネルギー事業 | 浪速運送(株)大阪配送センター(大阪市)～同東京配送センター(東京都)間の貨物輸送(主にアパレル製品)について、従来のトラック輸送から20ftコンテナを利用した鉄道輸送にモーダルシフトし、省エネと環境負荷の低減を図るもの。 | 浪速運送(株) | 日本フレートライナー(株) 日本貨物鉄道(株) |
| | 11 | 関西 | 他 | 大 | パートナーシップによる神戸/北九州間フィーダー輸送大型内航コンテナ船導入による省エネルギー事業 | 神戸～北九州航路を運航しているコンテナ専用船(499総トン)2隻を大型化(749総トン)し、1隻にすることで、運航隻数を減少させ、省エネと環境負荷の低減を図るもの。 | (株)MOLJAPAN | 井本商運(株) 井本船舶(株) |

※分類種別… **モ(鉄)**: 鉄道へのモーダルシフトにかかるもの、**モ(海)**: 海運へのモーダルシフトにかかるもの、**共**: 共同輸送にかかるもの、**集**: 物流の集約(拠点の集約化等)にかかるもの、**大**: 大型化による物流効率化にかかるもの、**他**: その他、(R): 電子タグにかかるもの